資料①

第９回　生涯学習笑顔のつどい

１　趣　旨

　子どもたちの放課後や、学校の夏休みなど長期休業に伴う自由な時間が増加しています。

　このような中、子どもたちは、自由な時間をどこでどのように過ごしているのでしょうか。地域にはどのような活動の場（遊びを含む。）、居場所があるのでしょうか。

　古賀市の子どもたちの、学校や家庭以外の活動の場、居場所としての公民館、その支援の在り方等について考える機会とします。

２　テーマ

　「公民館を子どもたちの第三の居場所に」

３　主　催

　古賀市教育委員会

４　主　管

　古賀市社会教育委員の会議

５　日　時

　令和７年１月19日（日）　１０：００～１２：１０

７　会　場

　リーパスプラザこが　多目的ホール

８　参加期待者

　行政区長、公民館関係者、学校・PTCA関係者、子育て中の方、子どもの活動に興味がある方　行政関係者　など

９　内　容

（１）問題提起

（２）パネルディスカッション

①花鶴丘３丁目区

②子育てサロンちいさかーさ

③久保西チャレンジ教室

資料②

生涯学習笑顔のつどい　問題提起

子どもたちの放課後や、学校の夏休みなど長期休業に伴う自由な時間が増加しています。

また、ここ数年の夏の猛暑や不審者等への安全対応などが高まる中、社会教育委員の会議では、子どもたちが、安全・安心に過ごす居場所の必要性を感じています。

このような中、古賀市では、市長と教育委員、社会教育委員の懇談会を年１回、開催していただいていますが、昨年度のテーマは「放課後の子どもの過ごし方」でした。

古賀市には、放課後等の子どもたちの居場所となるものが、青少年育成課の関係分を拾ってみると、３つの中学校区にそれぞれ１か所ずつ児童センターが開所され、０歳から１８歳までの子たちが利用しています。

また、保護者の就労等により、家庭が留守になっている児童が、放課後等の遊びや生活の場として安心・安全に過ごす場となる「学童保育所」が全小学校で委託団体により運営されています。

この他にも、地域住民が中心となって運営する事業として、週１回から３回程度、児童がランドセルを持ったまま学校施設等で安全に遊ぶことができる「放課後子ども教室」が８箇所。

長期休業期間中の数日間、児童の学習と体験活動を行い、子どもの居場所となる「寺子屋」が３箇所。

４日から７日程度、児童が家庭を離れ公民館等に宿泊し、生活体験活動を行いながら通学する「通学合宿」が３箇所。

九州産業大学と連携し、子どもたちに絵画や工作など様々な造形活動を提供し、アートを通じた自己表現の向上を目指す「子どもアート事業」が毎月１回あります。

加えて、スポーツ団体、文化団体等の活動の場、子ども食堂等の場もあります。

しかしながら、これら活動の場、居場所は、保護者の就労の都合や、興味関心がある子どもたちが行く活動の場が多く、また、自宅から離れた学校や校区内の１か所であったりすることから、社会教育委員の会議では、子どもたちが下校し、自宅に近い、もっと身近な場所で、子どもたちが誰でも自由に行ける、児童センターのような場所が開設できないか、そういう実践はないか、どんな課題があるのかなどについて協議を続けています。

そこで、今年の生涯学習笑顔のつどいでは、放課後の子どもの居場所として、家庭に身近な地元の「自治公民館」に焦点を当て、自治公民館で実施されている子ども向けの事業、その運営について、本日ここにご参加の皆さんと協議できればと考え、「公民館を子どもたちの第三の居場所に」をテーマに設定しました。

自治公民館ですので、館長さんが常駐していないなど、課題となる点は、いろいろあるかと思いますが、地域の子どもたちの放課後等の安全、安心な居場所を地域に作ることができないか、ここに問題提起とさせていただきます。

資料③

パネルディスカッション発表内容について

パネリスト（発表者）は、発表原稿を作成される際、次の内容をご準備ください。
なお、発表時間は延べ１０分程度ですので、すべてをお話しいただくのではなく、コーディネーターが数点に絞ってお尋ねします。その後のフロア参加者とのやり取りで、質問に出そうな内容を盛り込んでいます。
詳しくは、別紙、パネルディスカッションの流れをご覧ください。

①自己紹介
②活動のきっかけ
（どうしてこの活動をしようと思ったのか。）
③活動の目的
（きっかけとつながり、そのためにこうしよう、こうしたらこんな成果を期待した。など）
④公民館を活動の場とした理由
（なぜ、公民館を会場としたのか。その時の課題・問題点とその解決方法）
⑤活動のＰＲ方法
（地域や子どもたちへどのように活動を周知したか。）
⑥活動の実際
⑦地域、仲間の協力体制
（活動を始める際、活動の実際で、運営の協力者をどのように集めたか。課題はあれば、どう解決したか。）
⑧活動時の子どもたちの姿
⑨活動を通して感じたこと
（うれしかったこと、大変だったこと、気になったこと　など）
⑩今日の会場参加者への応援メッセージ
（新たに地域での活動を始めようとする人､公民館を管理する地域の方へのメッセージ）

資料④

パネルディスカッションの流れ(質問形式)

１０：２０～１０：２５　コーディネーター、パネリストの紹介
１０：２５～１０：３０　コーディネーターの投げかけ（各１分３０秒）
①自己紹介（Ａ花鶴丘３丁目区➪Ｂ子育てサロンちいさかーさ➪Ｃ久保西チャレンジ教室）
１０：３０～１０：４０　コーディネーターの投げかけ（各３分）
②活動のきっかけ（Ａ➪Ｂ➪Ｃ）
１０：４０～１０：４５　②へのコーディネーターの質問（５分）特に気になることがあれば質問します。
１０：４５～１０：５５　コーディネーターの投げかけ（各３分）
④公民館を活動の場とした理由（Ｂ➪Ｃ➪Ａ）
１０：５５～１１：００　④へのコーディネーターの質問（５分）特に気になることがあれば質問します。
１１：００～１１：２０　コーディネーターの投げかけ（各５分）
⑥活動の実際⑧活動時の子どもたちの姿
（Ｃ➪Ａ➪Ｂ）
１１：２０～１１：３０　コーディネーターの投げかけ（各３分）
⑨活動を通して感じたこと
（Ｃ➪Ａ➪Ｂ）
１１：３０～１１：４０　フロア隣接グループで協議
※公民館を子どもたちの居場所にできそうか難しそうか、どうやったらできそうかなどを協議する。
１１：４０～１１：５５　フロアとパネリストの交流
コーディネーターのリードでフロアで話したことをパネリストに質問したりフロア同士の意見交換をしたりする。
１１：５５～１２：００　コーディネーターのまとめ

資料⑤

パネルディスカッションの流れ(各団体の発表形式)

９：３０～　　受付
１０：００～１０：１５　　開会行事
　教育長あいさつ、市長あいさつ、日程説明
１０：２０～１０：２５　　問題提起　(角森委員)
１０：２５～　　パネルディスカッション
１０：２５～１０：３０　　コーディネーター、パネリスト紹介
１０：３０～１０：４５　　発表者①
　発表１０分、コーディネーター質疑５分
１０：４５～１１：００　　発表者②
１１：１５～１１：３０　　発表者③
１１：３０～１１：４０　　隣接小グループ協議
※公民館を子どもたちの居場所にできそうか難しそうか、
どうやったらできそうかなどを協議する。
１１：４０～１１：５５　　登壇者への質疑（１５分）
※コーディネーターのリードでフロアで話したことをパネリストに
質問したりフロア同士の意見交換をしたりする。
１１：５５～１２：００　　コーディネーターまとめ
１２：００～　　閉会行事　(井浦議長)
　社会教育委員から